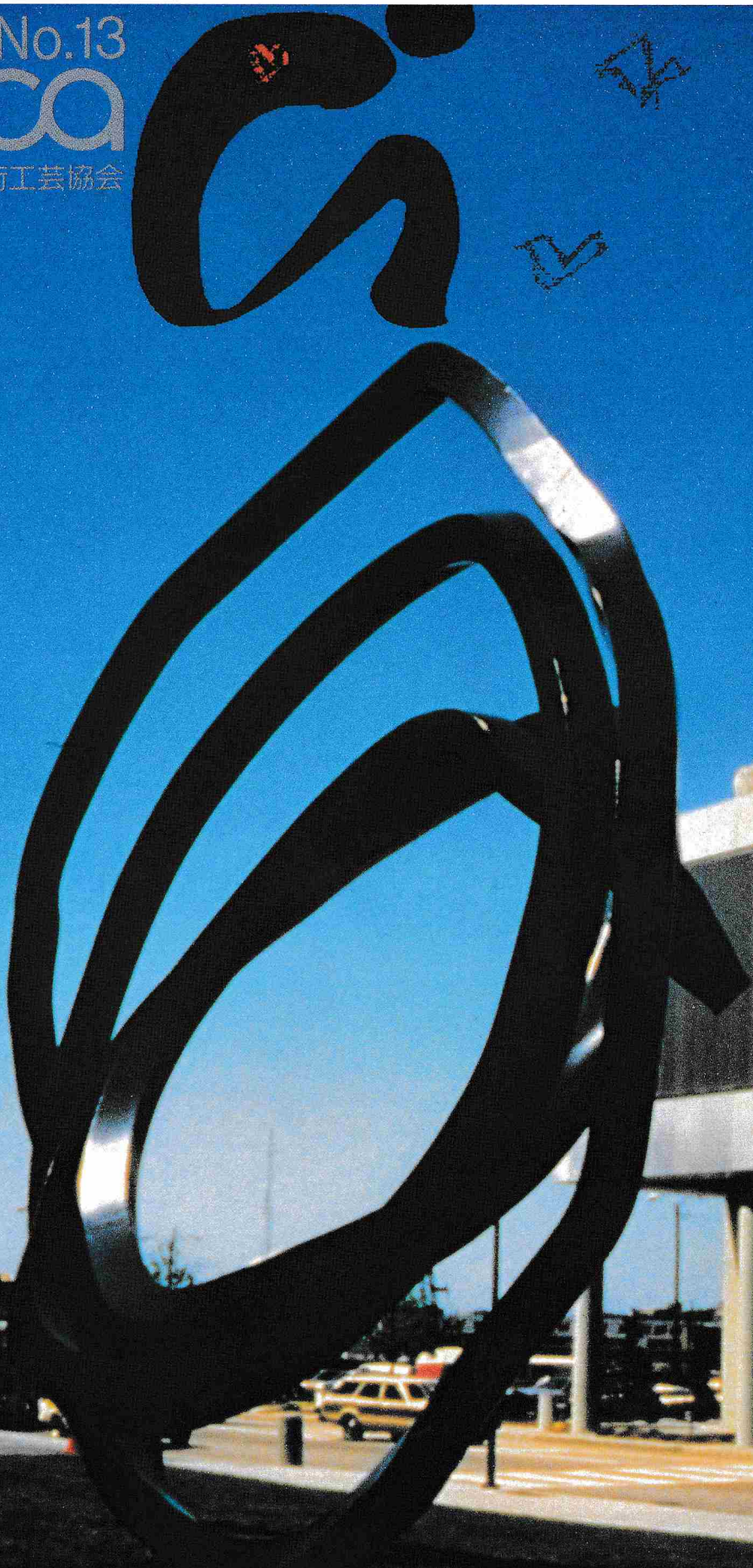


1993/9 No.13

aaqa

観日本建築美術工芸協会



CONTENTS

公共芸術(パブリックアート)

ジョイス・ボメロイ・シュワルツ女史…………… 1

時代の華一輪

仙田 満…………… 5

金沢シンポジウムに参加して

三木経一郎・桜井俊一…………… 6

TOPICS…………… 7

■表紙写真

Bernar Venet "UNDETERMINED LINE"
1987, World Trade Center, Norfolk, VA.

公共芸術(パブリックアート) 視覚判断にアピールし、最高の場所をつくりだす方策



ジョイス・ポメロイ・シュワルツ女史
ワークス・オブ・アート・フォー・パブリック・スペースズ社長
パブリック・アート・コンサルタンツ

建造物に芸術性を創造する プロセス

公共芸術とは、一般大衆を対象とするイベントである。ここ20年のあいだ、より多くの人々とコミュニケーションを深めたいという熱心な芸術家たちの願いは強まるばかりである。美術館や画廊にある芸術作品と異なり、公共の場にある作品は、芸術的素養のある人の目にも、ない人の目にも、ふれることになる。

時間の過ごし方や関心の持ち方など、豊かな社会に生きる人々のライフスタイルの質を向上させる点において、芸術はスポーツや伝統的なレクリエーション活動に匹敵する。現代の公共芸術は世界的に、国や企業をはじめ、芸術界で働くプロたちが支援する都市芸術運動となっている。

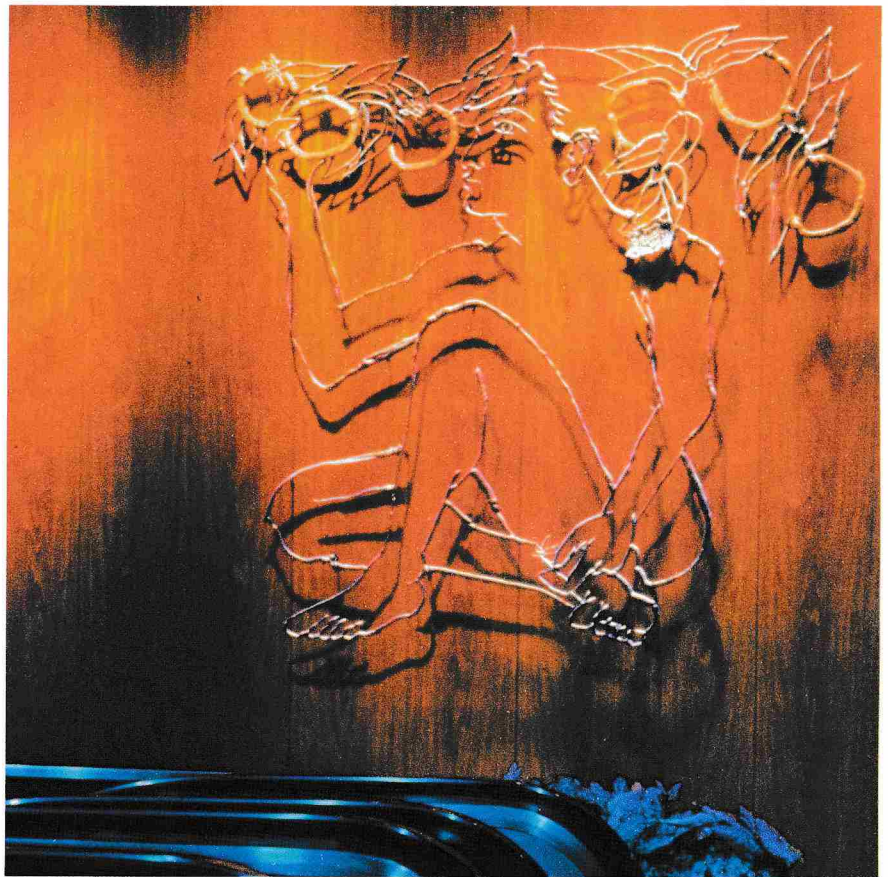
現代の公共芸術が面白いのは、多面的なイメージをもつからである。たとえば、一つの対象物をとりあげても、環境、機能、建築、装飾、と多種多様な側面があり、抽象的にも象徴的にもなりえるし、ユーモラスにも感動的にもなりえる。人々は日常のあらゆる場で、この公共芸術と出会う。たとえば、広場、公園、遊び場、街路、空港、駅、オフィスビル、ショッピングモール、学校、ウォーターフロント、駐車場、さらにはインフラストラクチャ(社会的生産基盤施設)などにおいてである。ゲート、展望台、いす、バス停、橋など、芸術家が創造する建造物はみな芸術作品である。

都市のシンボルともいえる公共芸術は、モニュメントとしての属性をもつ。規模の大きさ、歴史、記憶に残る出来事、明確性、建設時の諸配慮、記念物、永遠性、アイデア、良質の素材といった属性があげられる。世界的に有名な例としては、エジプトのスフィンクス、ローマのナポーナ広場にあるベルニーニ作の「四季の泉」、エッフェル塔、米国フィラデルフィアにあるクラス・オルデンバーグ作の「クローズピン(洗濯バサミ)」、ワシントンDCのベトナム・メモリアル、日米

におけるクリストのアンプレラ・プロジェクトなどがある。

シカゴ、バルセロナ、パリ、シアトルなどの諸都市には世界的に認められてい

る公共芸術プログラムがあり、それらはそれぞれの国の名声を高めるのに役立っている。



Robert Kushner "WALL RELIEF" 1986, Houston, TX.



David Saunders "LAKESIDE TROUT" 1986, Metro Co. Atlanta, GA.

アメリカの新しい公共芸術

アメリカの公共芸術は、さまざまな影響を受けて、新しい方向へと展開している。広大なアメリカ西部に深く感動する芸術家たちは、アースワークやエコロジカルアート（自然の土、砂、水などを素材とした芸術作品）を制作し、理念や社会問題に重点をおく概念芸術家たちは、多分野が相互に影響し合う公共芸術作品を制作している。

芸術家たちは、歴史上重要な公共芸術や異文化、昔ながらの社会を探し求めて旅をする。そして、そこから得た経験を個々の芸術的ビジョンに変容させる。

現代公共芸術の注目すべき点は、芸術的側面のみでなく、その場所特有の歴史、記憶に残る出来事、政治的・社会的・哲学的側面まで深く理解していることである。

1970年代初め、米国政府の建設部門である調達局（GSA）は、新しい連邦デザイン基準の下に、建築芸術への関与を復活させ、400件を超える大型公共芸術プロジェクトを発注した。これがモデルとなって、「パーセント・フォー・アート（Per Cent for Art）」法のもとに、600件以上の都市公共芸術プログラムが生まれたのである。

IBMやチェース・マンハッタン銀行、AT&T、コカコーラなどの企業は、創造性と責任ある市民としてのイメージをアピールするため、大型公共芸術プロジェクトを発注した。また、米国を代表する都市商業センターであるニューヨークのロックフェラーセンターは、権威ある国際的芸術・建築プログラムで、企業社会を刺激し続けている。



Alan Saret "HOME & AWAY" 1992. New Intr. Pitts. Arprt. Pittsburgh, PA.



Joyce Kozuloff "VICTORIAN, FANK BAY AREA-DECO" 1983, S.Fran. Int. Airprt.



Robert Morris "BULL WALL" 1992, American Royale. Kansas City, MO.

芸術家と建築家による共同制作 プロセスが公共芸術の出来栄に 影響

公共芸術家は、もはやアトリエにこもる孤独な芸術家ではなく、「チーム」の一員として、建築家や芸術家のプロや、クライアントである政府や企業の人々と共同で仕事をする。公共芸術は、芸術家にも建築家や景観建築家にも、新しいイメージを創造するチャンスになる。

建築家と芸術家が共同で制作するには、理想的な組み合わせが必要である。芸術家は、空間や素材や機能についての建築家の知識を必要とし、また建築家は、芸術家がイメージする概念をクライアントに具体的に説明することができる。とくに場所がらを重視する複雑な公共芸術においては、チームを組んで共同で仕事を進め、芸術、建築、景観デザインの各分野を融合させなければならない。

パブリック・アート・コンサルタント社は、関係者すべてのニーズを統合するべく努め、クライアントの啓発も行う。また、建築家から請負業者、設備業者にいたるまでの人々の間をつなぐ連絡係として、人的要因の分析、前向きな環境の確立と維持、契約交渉や製作、設置のスピードアップに努める。



Anne & Patrick Poirier "PROMENADE CLASSIQUE" 1986, Transportomac Canal Center, Alexandria, VA.



Sol Lewitt "13GEOMETRIC FIG" 1984, Wood St. Station, City Pittsburgh.

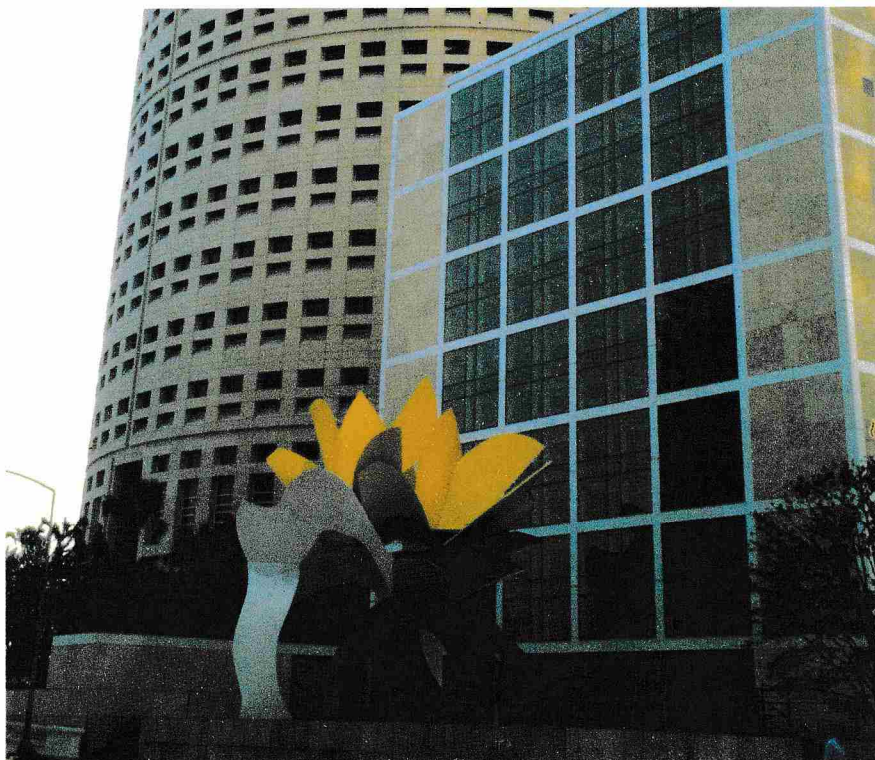


Lauren Ewing "SUBJECT/OBJECT" 1990, Philadelphia.

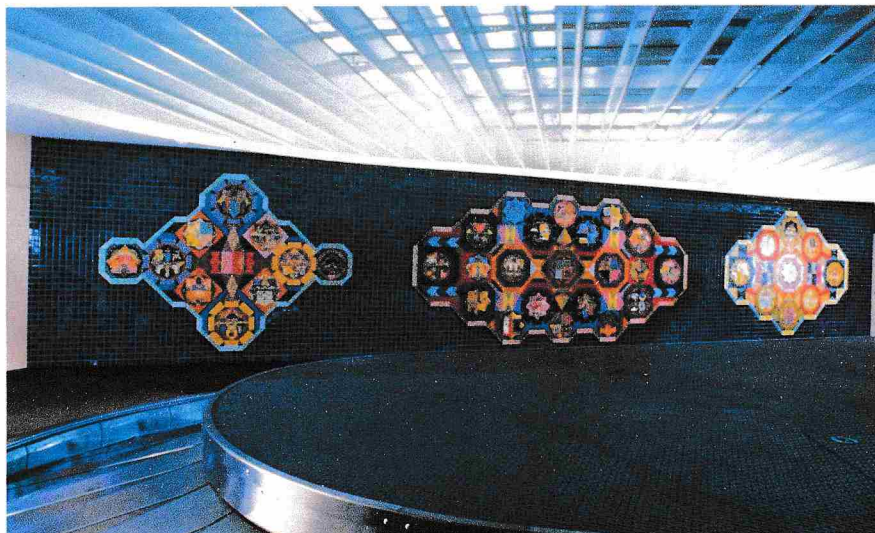
自治体や企業は、発注プロセスに広報および啓発プログラムを加える必要がある。芸術委員会と建築家の合意にもとづいて実力ある芸術家たちが選出される場合には、おおいに率直な意見を交換して議論するのが望ましい。建設プロジェクトが考案されたら、現実的な予算とタイムスケジュールを組む。建設費予算額の1%を芸術面に充当するのが米国の慣習である。欧州では2%か、あるいはそれを上回る。実際には、平方フィート当たりのコストを基準にしてパーセンテージを算出する。コストが高ければパーセンテージも高くする。十分な資金を割り当てれば、建造物の芸術性は、その規模、耐久性、重要性において確実にそれにふさわしいものになる。

すばらしい芸術作品は、偶然に生まれるのではない。十分に計画されているのである。発注までにどのような手順をふむかで、仕上がりの質に大きな違いがでてくる。

建築家たちが建築物環境に及ぼす自分たちの影響力を自覚しているように、公共芸術家たちも「その場所特有の属性」を生み出す永続的価値のある芸術作品をつくる使命感がある。



George Sugarman "UNTITLED" 1989 NCNB Florida Hdqts. Tampa, FL.



Joyce Kozloff "VICTORIAN,-FANK BAY AREA-DECO" 1983, S.Fran. Int. Airprt.



Maren Hassinger "CLOUD ROOM" 1992, New Int Pitt Arprt.



東京工業大学 教授
MITSURU SENDAI
仙田 満
株環境デザイン研究所
東京都港区三田1-1-15 三田ソネットビル3F
TEL.03-3454-4671

建築・彫刻・距離

個体距離という概念は生物学者ハーディガーがはじめて唱えたといわれている。個体距離とは生物が他の生物個体との安定した距離である。よく例えにだされるのは、電線の鳥達で、ある一定の間隔をおいてとまっている。異種の個体、例えば、犬と人間の場合には、同種の個体以上の個体距離が必要になる。犬に人間が近づいて警戒して吠える距離がほぼそれにあたるかもしれない。

京都の鴨川の河原を昨年夏、三条大橋の上からみたら、ちょうど夕方若いアベック達が約3メートルの距離をおいて河原に座っていた。これも一種の個体距離（厳密に言えば、カップルを一つの個体とみなしているのだが、）といえる。アメリカのエドワード・T・ホールは、この生物学的な事実を人間、空間、建築に応用しようとして名著「かくれた次元」を書いた。人間の場合、文化や環境によってその個体距離は異なると指摘した。私は人間の住まいである住居もある種の個体距離があるのではないかと数年前から思いついて建築における個体距離を検討するのに2つの方向を考えた。意識個体距離*¹と景観個体距離*²というものである。意識個体距離というのは人間が住まう住居、いうなれば、人間の巣としての建物は、におい、音、雰囲気という点で隣の家と離れていたいという欲求がある。ピアノの音がうるさい、夫婦げんかが聞こえる、さんまを焼くにおいがする、というのは多くの場合都合が悪い。そのさまざまな問題を調査してみると、隣の家との間は8メートルぐらい離れているのがよいという結論をえた。一方景観個体距離というのは見た目で家と家とがくっつきすぎでない方が、家並みにとって美しいのではないかという事で、隣あう家のデザインと距離の関係を調べてみた。隣あう家が、全く異なるデザインの場合には12メートルほど離れている必要があって、各部のデザインが共通してくると近づける事ができる。たとえば京都の町屋など両隣のデザインが、屋根の形状、壁の形、窓の影、色彩などほとん

ど一致しているため個体距離は0mとなることができている例だと説明できる。また隣同志の家の間に緑があるとその個体距離を縮める事ができるようである。日本の一般の住宅地では宅地が狭いから、12mの個体距離はなかなかとれない。緑をふやすか、デザイン的に共通要素をいれる必要があると思う。

このような考え方は、町の中に彫刻を設置する場合でもまた同じである。彫刻はそれぞれの個性を主張するから、その個体距離は十分とる必要がある。あるいは緑で背景を構成しなければならぬ場合もある。町並みはさまざまな建物、工

作物、看板、緑によって構成されている。景観といった場合多くはその形や色彩のみが論じられるが、距離という概念を援用して十分な個体距離をとるか、デザイン的な共通性をとるか、緑の投入をはかる事等を考えたらよいのではないだろうか。

- *-1 参考：日本建築学会論文報告集第436号
「住み手の意識からみた建築の個体距離」
仙田満・矢田努・尾関昭之介
- *-2 参考：日本建築学会論文報告集第423号
「建築の個体距離に関する研究」
仙田満・尾関昭之介・金城むつみ



渋谷区散策路



日本興業銀行 総務部参事
KYÔICHIRO MIKI
三木 経一郎
東京都千代田区丸の内1-3-3
TEL.03-3214-1111

金沢シンポジウムに参加して

久しぶりに金沢の駅に降り立ちました。駅前の高層ビル、武蔵ヶ辻、香林坊の繁華街に林立する近代ビルと、金沢の町並みも確実に近代都市化への道を歩んでいることを実感いたしました。又同時に金沢の町の長い歴史を留める城下町の町並みが、この新しい近代ビルの景観と、どのように共存しているのかと、楽しみと不安の複雑な思いを持ちつつ会場の文化ホールへと足を運びました。

シンポジウムでは6人のパネラーの先生方が、それぞれのご専門の立場で「景観と文化」について大変興味深いお話、ご意見を聞かせていただき、建築家として考えさせられることの多い有意義な3時間でした。

会場を後にして長町、大工町、旧観音町、旧愛宕の町を訪れましたが、経済優先の現代社会において、単なる観光用に町並みの景観を保存するのではなく、そこに人々の暮らしがあり、生きた町として町並み、建築を維持保全することの困難さを痛切に感じました。

人は何故、長い時間を経たものに出会った時、感銘を受けるのか。現代文明社会はスピードを競うあまり、時間の重要性を忘れていないのか。どんなに文明が発達しても時間は人間の手で作ることはできない。気の遠くなるような宇宙の時間により生まれた地球の自然環境は、人類にとってかけがえのない財産である。

天正十一年、前田利家の入城により整備され、近世都市として発展、明治初年には東京、大阪、京都に次ぐ人口を擁した金沢の町が、戦後も非戦災都市としてあまり急速をしないで今日に至ったものが、ここ数年来都心部が急激に変化をしつつある。長期に亘り金沢の人々がその生活の中でこつこつと努力、積み重ねて築かれた金沢の町並みを、今後も金沢の人々が主役となり、新しい町作りを時と共にゆるやかに次の時代へ向けて進められることを念じて、金沢の町に別れを告げました。



建築設計監理
SHUNICHI SAKURAI
桜井 俊一
有限桜井建築設計事務所 代表取締役社長
東京都新宿区下落合3-15-20
目白大和田601
TEL.03-3954-2007

'93 石川・金沢シンポジウムに参加して

日本の終戦後間もなく東京に生まれた私は、新生東京の申し子のように育っていった。そんな東京っ子も、高度成長・オイルショックと続くさなか、若い時から憧れていた山陰地方の城下町に3年間生活し、その後ヨーロッパの古い都市にも2年程住んでみた。にわかにも、伝統のある町に暮らした経験がある私はずいぶん前から「古く美しい街」には大いに興味を持ち続けている。

今回もAACAJ主催の「景観と文化」をテーマにしたシンポジウムに前回の静岡シンポジウム同様、胸弾ませ参加させて頂いた。当日、空港に到着後、シンポジウムが始まるまでの間、会員の人々とバスで金沢の街を見学させてもらった。金沢を訪れるのは15年ぶりである。日本中の都市が、国土性・地方性を失いつつある中で、やはり金沢の変貌も他の都市の変化と同じく、少し大袈裟に言えば、過去を消し去り、記憶を喪失する方向へ向かう姿を感じずにはいられなかった。特殊な地域は大事に保存されてはいるが、これを取り巻いている景観が個人の自由と要求によって適応性を大きく失いつつ

あるのである。“もうどうにも止まらない”のだろうか。そんなことを思いつつ、金沢文化ホールでの開演を待っていた。

今回もいろいろな分野のパネラーの人々が参加された。街づくりは文化行政と住民とで景観形成されていく、と上原恵美氏。土木的な触れ合いから街の文化を垣間見る、と小堀為雄氏。限られたスペースをどう有効に使うかと幕の内弁当説まで出された、榮久庵憲司氏。西欧の都市と日本の都市の比較から文化を考える、高階秀爾氏。古代、中世以来の美しい風景をもう一度日本に取り戻したい、と芳賀徹氏。彫刻の公共性の理解を深める街づくりを、と蓮田修吾郎氏。中でも榮久庵氏の日本文化は多様性によって、異業種文化を器用につなぎ合わせて何かを作ってきたという意見。そして金沢のような古い街並みの中に超機械的で美しくデザインされたオートバイが景観の中に解け込むようなものを作っていきたい、という締めくくりに話はシンポジウム終了後も、その情景が頭の中に残りとても印象的であった。今回も大変意義深く大いに盛り上がった催しであった。

これからは地道な文化論議をAACAJシンポジウムに期待しながら、次回を楽しみにしていきたい。



AACA事務局から

・第3回AACA賞作品募集

本年度の日本建築美術工芸協会賞作品募集を次の日程で行います。

応募される方は、協会事務局へご連絡下さい。申込用紙・募集要項等お送りいたします。

〈日程〉

公表：8月中旬

応募開始：9月1日(水)

締切：9月30日(木)

表彰式：12月22日(協会設立記念会)

・AACAトーク開催

平成5年度前期のAACAトークは残り2回の開催となりました。日時およびゲストの方は次の通りです。

第55回 平成5年10月22日(金)

ゲスト：AACA調査研究委員会委員
——トーク「パブリックアートを語る」——

第56回 平成5年11月20日(金)

ゲスト：村上慶子氏(皮革工芸家)
吉村忠雄氏(東陶機器株)

——工芸対談——

後期(12月以降)開催日程は次号でご案内させていただきます。

・AACA研修旅行

例年実施の事業委員会主催の研修旅行を下記日程で行います。参加希望される方は事務局までご連絡下さい。

日時：11月11日(木)～11月13日(土)

研修地：四国〈徳島・香川の旅〉2泊3日
主なる研修先。大塚製薬能力開発研究所。
徳島県庁。丸亀市猪熊弦一郎現代美術館その他観光と地元阿波踊連との踊りの交流等も予定しています。

金沢シンポジウムのパネラー各氏



第十八回 吉田五十八賞

建築の部

作品 「水戸市立西部図書館」
茨城県水戸市掘町

受賞者 設計 新居千秋
東京都目黒区祐天寺2-14-19-3F
(TEL03-3760-5411)

賞 記念品・銀製文鎮
賞金・300万円

建築関連美術の部

作品 「海の博物館」
三重県鳥羽市浦村

受賞者 建築設計 内藤 廣
東京都千代田区九段南2-2-8-301
(TEL03-3262-9636)

水辺の彫刻 制作 小清水 漸
大阪府池田市五月丘2-1-7
A-102
(TEL0727-53-1741)

扉絵の造形 制作 松田 研一
八王子市大和田町5-24-3-101
(TEL0426-56-2796)

賞 記念品・銀製文鎮
賞金・100万円

特別賞

1. 建築界に対する永年の功績

受賞者 水澤工務店社長 水澤晴彦
東京都江東区木場5-6-1
(TEL03-3641-7111)

2. ポスト数寄屋への研鑽

受賞者 山本良介
大阪府吹田市江の木町16-1-203
(TEL06-338-2272)

3. 諸職の技術を生かした住宅

受賞者 中村好文
東京都世田谷区奥沢2-38-1-307
(TEL03-3718-4450)

4. 霧の修景・彫刻

〈立川・昭和記念公園 子供の森〉
受賞者 中谷美二子
東京都渋谷区神宮前1-21-1
(TEL03-3470-2664)

賞 記念品・銀製文鎮
賞金・各50万円

選考委員

芦原義信 池原義郎 圓鏑勝三
加倉井和夫 清家 清 高山辰雄
村松貞次郎 脇田 和

(尚 表彰式は平成5年11月11日(木)に行う予定)



発行：日本建築美術工芸協会

Phone 03-3457-7998

Fax 03-3457-1598

〒108 東京都港区芝5-26-20
建築会館6F

振替：東京 1-365085

編集：(社)日本建築美術工芸協会広報委員会

柳澤孝彦(委員長)、宇津野和俊(副委員長)

大多了介、坂上みつ子、崎山小夜子

高部多恵子、玉見 満、富田俊男

製作協力：(株)SP建材エージェンシー

新 動 空 間

小松ウオール

■ 横浜ランドマークタワー
横浜ロイヤルパークホテル ニッコー
設計/三菱地所
施工/大成・清水・大林・竹中・鹿島・間・前田・
地崎・飛鳥・戸田・東急・青木・三菱・
フジタ・熊谷・東亜・山岸・奈良・紅梅・
若菜・五洋・不動・増岡・安藤・大豊・
東海JV(建築)共同企業体

展示仕様 遮音仕様 外壁仕様 電動仕様



大型移動壁

小松ランニング

室内空間の多種多様な使用目的に、フレキシブルでスピーディな対応が可能な大型移動壁——〈小松ランニング〉。女性二人程度の方で、重さ数トンの超大型壁面を楽々と移動することができます。固定性、遮音性も、固定壁に匹敵する性能を実現し、壁としての重厚な存在感を十分に感じさせます。特に学校やコンベンションホール、和洋宴会場などには、遮音性の高いパネルを使用し

た遮音仕様タイプが最適。パワークローザー装置、吸音圧着型召し合せ機構、遮音ドアなどの採用により、ハイレベルな遮音性を発揮しています。また、パネルデザインも他に類を見ない豊富なバリエーションを用意。さらには収納庫を移動壁と同じ意匠にし、レイアウト時は物置空間として利用できるようにするなど、小松ウォールの綿密な設計思想が徹底的に貫かれています。

KW 小松ウオール工業株式会社

● 本社 / 〒923 石川県小松市工業団地1-72 ☎0761>21-3131(代)